

2018年度 診療報酬・介護報酬改定からみた リハビリテーション職種に期待すること ～他職種と協働する上での課題と対策～

今年度は、2018年の医療介護保険同時改定を踏まえた在宅リハビリテーションの指針を確認するとともに『他職種との協働』をテーマとしました。

特別講演は、厚生労働省担当官から「2018年度診療報酬・介護報酬改定からみたリハビリテーション専門職に期待すること」、基調講演は在宅医療に従事されている医師から「在宅医療からの訪問リハビリテーションに期待すること」。シンポジウムでは、訪問リハビリテーションと訪問看護の協働、訪問リハビリテーションと介護支援専門との協働、訪問リハビリテーションと訪問介護との協働について、課題を共有しながら対策を討論し、一定の方向性をまとめていきます。

一般の方、医療関係・福祉関係職種の方々にご参加頂けますので、お知り合いの方お誘いあわせの上、お越しただければ幸いです。

講演

- 平成30年度診療報酬・介護報酬改定からみたリハビリテーション専門職に期待すること
- 在宅医療からの訪問リハビリテーションに期待すること

シンポジウム

- 訪問リハビリテーションと介護支援専門員との協働に向けた現状と課題
- 訪問リハビリテーションと訪問看護との協働に向けた現状と課題
- 訪問リハビリテーションと訪問介護との協働に向けた現状と課題

日程

2018年5月20日（日）

9：30～12：50（受付開始8：45）

会場

東京ビッグサイト（東京国際展示場）
レセプションホールB

東京都江東区有明3-11-1 ※ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分

参加費

1,000円（定員：500名）

※どなたでもご参加いただけます

